

# 平成30年度事業報告書

平成30年度は、「第4次アクションプラン」に掲げられた課題の実現に向け、官民一体となって国際競争力のある使いやすい港づくりに向けた取り組みを進めた。

振興事業としては、振興促進協議会の幹事会等の開催、東京港振興使節団の海外派遣や「東京港のつどい」など貨物集荷活動を着実に展開した。

特に、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を2年後に控え、港湾事業者の関心の高い大会輸送と物流の両立についての最新情報の提供を行った。

客船誘致活動については、昨年引き続き国内外のクルーズ客船に対する入出港歓送迎行事や外国客船誘致のための海外船社などへの営業活動受託業務を実施したほか、港湾管理者などとの共催により「東京クルーズセミナー」を開催した。

都民を対象とした見学会についても、土曜見学会を充実させるなど活発に展開した。

会員向け事業については、新規採用者研修として活用いただける東京港研修・見学会や最新の冷蔵倉庫団地の見学会、東京港の魅力の一つである夜景を鑑賞する夜景見学会、舟運の活性化に向けた取組みの一環として水上タクシーの体験乗船会など、一層の充実を努めた。

東京港及び臨海副都心のPR施設「東京臨海部広報展示室」の管理運營業務については、東京みなと館の運営で培ったノウハウを活かして国内外に向けた東京港及び臨海部のPRに取り組むとともに、多数の企画展示を実施し来室者の増に努めた。

また、収支の改善を図るため引き続き経費の削減に努めるとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

## 1. 港湾振興事業

### (1) 東京港振興促進協議会

平成26年1月に策定された「第4次アクションプラン」の課題実現に向け、東京港の物流機能の強化や安全の確保・危機管理、環境に配慮したみなとづくり、みなとの賑わいの創出などへの取り組みを進めた。

本年度は、5月30日及び12月5日に幹事会及び総合検討部会を開催し、次の事項について報告を行った。

- ① 5月30日開催の幹事会及び総合検討部会
  - ・東京2020大会の安全で円滑な輸送の実現に向けて
  - ・東京2020大会トライアスロン競技の概要等について
- ② 12月5日開催の幹事会及び総合検討部会
  - ・2020大会輸送と企業活動との両立に向けて

## (2) 船舶貨物誘致活動の推進

東京港振興使節団として次のとおり使節団を派遣し、ポートセールス活動を展開した。

派遣期間 1月26日から1月31日までの6日間

派遣先 オーストラリア（シドニー、メルボルン）

活動内容 現地の港湾管理者等を訪問し、意見交換や港湾施設の視察など港湾情報の収集を行ったほか、シドニーではクルーズターミナルの視察や関係者との意見交換を行った。

## (3) 客船誘致活動の推進

### ① 入出港歓送迎行事等の実施

東京港初入港となる「スター・レジェンド」、「シルバー・ウイ سپー」、「インシグニア」をはじめ、「シルバー・シャドー」、「コスタ・ネオロマンチカ」、「ぱしふいっくびいなす」、「にっぽん丸」など国内外のクルーズ客船に対して延べ34回の入出港歓送迎行事を行い、記念品を贈呈するなどの誘致活動を行った。

また、都民を対象とした低廉な価格設定による「都民クルーズ」に協力し、小笠原諸島を巡るクルーズなど3回のクルーズを支援するとともに、「全国クルーズ客船誘致連絡会」に参加し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報を収集した。

### ② 客船誘致営業活動受託業務の実施

東京都からの受託業務として、効果的且つ効率的にクルーズ客船を誘致するため、イギリス、スイス、ドイツの海外船社への訪問や、上海で開催された「シートレード・クルーズ・アジア・パシフィック」への出展のほか、海外船社の東京港視察対応など東京港寄港に向けた営業活動を行った。

### ③ 東京クルーズセミナーの開催

東京都のクルーズ客船誘致に対する取り組みを周知し、東京港への要望などについてヒアリングを行うため、平成29年度に引き続きクルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象にセミナーを開催した。

セミナーではロイヤル・カリビアン・インターナショナル中国・北アジア・太平洋地区社長による基調講演を行った。

開催日 2月13日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約60名

### ④ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

東京都港湾局、東京港埠頭株式会社及び当協会によるプロジェクトチームに参加し、クルーズ客船の東京港誘致に向けた取り組みについて検討を行った。

#### (4) 荷主などとの懇談会の開催

東京港の利用促進に向けた取組みとして、荷主などの意見・要望を把握し、新たな施策展開に向けた検討に資するため、「東京港のつどい」を開催した。

渋滞対策などの東京港の利用促進に向けた最新の取組みを紹介するとともに、オリンピック・パラリンピック準備局からは2020年東京大会に向けた大会輸送と企業活動の両立に向けた交通対策などについての説明がなされた。

開催日 2月7日

開催場所 ガーデンシティ PREMIUM 田町

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約200名

#### (5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施

##### ① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

120航海、150団体、11,036名の乗船者に対して案内を実施した。

##### ② 新東京丸による東京港土曜見学会

広く都民に東京港をPRするため、新東京丸による東京港案内を行う東京港見学会を実施した。

なお、より多くの方に参加していただけるように実施回数を増やすとともに実施日を土曜日とした。

64回実施し合計2,037名の参加を得た。

##### ③ 親子で行く！東京港高潮対策センター見学&運河クルーズ

新たな東京都からの受託事業として、高潮や津波による水害から都民の生命・財産を守る高潮対策センターの見学と東京の魅力あふれる運河を水上タクシーなどで巡るクルーズを実施した。

実施日 8月14日、15日、16日（各日2回実施）

参加者総数 92名

##### ④ 東京港夜景観賞ツアー

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機会の少ない東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び海上バスから観賞するツアーを実施した。

実施日 11月29日

参加者総数 240名（応募倍率37.7倍）

## (6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

東京港及び臨海副都心を、都民はもとより国内外の多くの人々に親しまれる東京の観光スポットとしてさらに発展させるため、日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせやイベントなどの情報提供に努めた。

なお、英語や中国語、韓国語などの外国語のパンフレットを配備するなど外国人に対するPR活動の充実を図った。

## 2. 情報提供等事業

### (1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ③ 「東京港便覧」

### (2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

#### ① 会員向け東京港見学会・研修会

新東京丸やバスなどを利用し、東京港の現状を直接見ていただくとともに、会員企業・団体の新規採用者研修などの業務研修として活用していただくための東京港の見学会・研修会を実施した。

(ア) バスによる東京港研修・見学会（4月、2回実施） 合計59名参加

(イ) 新東京丸による東京港見学会（12月、3回実施） 合計91名参加

#### ② 水上タクシー体験乗船会

舟運の活性化に向けた活動として、一般社団法人東京港運協会様のご協力により、水上タクシーに乗船し、東京港や運河クルーズを体験することにより、東京の水辺空間の魅力を感じていただくとともに、舟運が身近な観光・交通手段となる船旅であることを紹介する体験乗船会を実施した。

実施日 12月19日、21日（各日とも5便を実施）

参加者総数 92名

#### ③ 東京港夜景見学会

東京港の夜景をTOKYOミナトリエ及び海上バスから観賞する夜景見学会を実施した。

なお、今年度は臨海副都心の夜景についてもPRできることから、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会と合同で実施し、参加者の拡充を図った。

実施日 11月20日

参加者 163名

#### ④ 東京港港湾施設等見学会

東京団地冷蔵株式会社様のご協力により、平成30年3月に営業開始した最新の冷蔵倉庫団地の見学会を実施した。

実施日 2月12日

参加者 17名

### (3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

東京都港湾局及び東京港埠頭株式会社の平成30年度事業についての説明会と東京都港湾局技監による東京港の最新のトピックスをテーマとした講演会を開催した。

開催日 4月9日

開催場所 海運クラブ

参加者 港湾関係者を中心に229名

<事業説明会>

#### ① 「平成30年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長

石井 均 氏

#### ② 「平成30年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部経理課長

安川 一生 氏

<講演会>

「東京港の最近の話題」

東京都港湾局技監

小野 恭一 氏

### (4) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

港湾に関する講習会及び港湾整備事業の拡大強化を図るための集会を次のとおり実施した。

開催日 8月3日

開催場所 海運クラブ

参加者 港湾関係者を中心に226名

#### ① 港湾事業講習会

東京港において客船誘致活動の強化に取り組んでいる現状を踏まえ、国内外のクルーズ市場の現況と寄港地に求められているものなどについての講演会を開催

「国内外のクルーズ市場の動向と期待」

商船三井客船株式会社代表取締役社長

山口 直彦 氏

#### ② 東京都港湾整備振興大会

港湾整備事業の拡大強化を図るため、都議会議員をはじめ、島しょの各町村長、東京都港湾局長ほか関係者の臨席のもと、東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文を採択し、関係機関への要望活動を実施

### 3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会事務局として、5月26日・27日の両日に、晴海客船ターミナルを中心に第70回東京みなと祭を開催した。

恒例行事のポートバザールや東京港クルーズ、珍しい船の一般公開などをはじめ、東京港内の穴場のビューポイントをバスで巡り、隠れた東京港の魅力をPRするツアーなど、東京港のPRを一層図る多彩な行事を実施した。

また、共催行事として5月20日にドラゴンボート大会を実施したほか、協賛行事として水の消防ページェントなどが実施された。

晴海会場への来場者数は80,000人にのぼった。

5月18日には東京港開港記念行事として、東京港港湾功労者表彰式を芝浦サービスセンターにおいて開催し、港湾功労者13名に対し都知事感謝状と記念品を贈呈した。

表彰式に引き続き、東京港開港記念祝賀会実行委員会事務局として東京港開港記念祝賀会を開催し、238名の出席者があった。

### 4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

#### (1) 初入港船等の歓送迎

初入港船、外国客船、国内クルーズ客船、コンテナ船などに、89回の歓送迎行事を実施した。

また、外国客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、船内または客船ターミナル内にて観光ボランティアを活用したインフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

#### (2) 新東京丸による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船「新東京丸」による東京港案内を実施し、東京港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかわりなどの理解を図った。

355航海、1,282団体、16,252名に対して案内を実施した。

## 5. 東京臨海部広報展示室事業

来室者への展示案内に積極的に取組むとともに、集客を図るため、次のとおり特別企画展を実施した。

- ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展  
全国の小学生・中学生・高校生を対象に、海事産業の重要性を理解してもらうことを目的として開催されている「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の2016年度及び2017年度の入賞作品展  
開催期間 平成30年1月23日～4月15日
- 海上公園フォトコンテスト受賞作品展  
東京港埠頭株式会社様のご協力をいただき、同社が主催のお台場エリア周辺の海上公園を対象公園としたフォトコンテストの最優秀賞などの受賞作品展と海上公園の魅力を紹介するパネル展  
開催期間 平成30年4月17日～6月17日
- 「海の灯まつり in お台場」のあゆみ展  
今年で15回目を迎える「海の灯まつり in お台場」の第1回から第14回までの地上絵やその作成風景を写真で紹介  
地上絵を描くペーパーランプの作成体験コーナーも設置  
開催期間 平成30年6月19日～7月15日
- 東京都港湾局 工事の見える化展  
普段は「見えない」東京港の整備工事の様子を、パネルや模型を使って「見える化」して紹介  
開催期間 平成30年8月14日～9月28日
- 東京150年×東京港77年特別展  
東京府開設から150年と東京港開港77年を記念して、当時の様子や現在、そして未来の姿を浮世絵や写真などで紹介  
開催期間 平成30年7月17日～8月12日、9月29日～11月4日
- お台場レインボー花火写真展  
お台場海浜公園で開催される「お台場レインボー花火」の公式カメラマンである花火写真家 金武 武 氏が撮影したお台場レインボー花火の写真展  
開催期間 平成30年11月6日～平成31年1月6日
- 葛西海浜公園ラムサール条約湿地登録記念展  
葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを記念した特別展示。  
葛西沖の歩みから公園がラムサール条約湿地に登録されるまでの変遷などをパネルで紹介  
開催期間 平成31年1月8日～4月14日

○ ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展

「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の 2018 年度の入賞作品展

開催期間 平成 31 年 3 月 19 日～4 月 14 日

入室者は、都民をはじめ国内外からの行政視察、港湾関連企業グループ、小中学生の社会科見学など多岐にわたり、年間入室者数は、30,781 名であった。

## 6. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」のほか、新たに会員から要望の強い「東京港港内航空写真集成図」などの東京港関係資料の販売を行った。

## 7. 会員の異動状況

### (1) 新規入会申し込み会員

なし

### (2) 退会会員

法人 4 社

### (3) 会員数

306 社（令和元年 6 月 1 日現在）